

令和5年度 倉吉市地域学校推進協議会概要

1 趣旨

地域学校委員会への理念や取組への理解を深めることで、今後の取組の充実を図る。

2 概要

(1) 日時 令和5年5月12日（金）13：00～14：45

(2) 場所 倉吉福祉センター

(3) 参加者 倉吉市各小中学校地域学校委員

(4) 内容

①挨拶 倉吉市教育委員会 教育長 小椋博幸

②講義「地域と学校をつなぐ」

倉吉市立鴨川中学校 福山 大典 教諭（鳥取県地域コーディネーター）

- ・地域と関わる実践紹介
- ・学校運営協議会（コミュニティスクール）とは～
- ・学校教育として何ができるのか

③事例紹介「河北中学校区地域クリーンプロジェクト」

社会福祉協議会 林原 香里 課長

- ・社会福祉協議会と福祉教育
- ・協同実践にむけて
- ・河北中学校の取り組み

④情報交換



3 参加者の感想より

- ・素晴らしい活動を聞かせていただきありがとうございました。参考にさせていただきます。
- ・どちらの取り組みもステキで、聞いていて心が温まりました。今日の内容については、学校の先生方にもぜひ知っていただければと思いました。
- ・地元で育っても意外と知らない地元のこと、どう伝えていくのか難しい課題ですが、大事なことです。これからの地域づくりに活かしたいです。

- ・学校と地域が共に歩み、子ども達が成長していく手助けができるよう、がんばりたいと思います。
- ・PTAとしても何かできることがないか考えたいです。
- ・素晴らしい実践を聞かせていただき、参考になりました。協働の大切さを学びました。学校側がもっと地域へ要望されたらいいなと思います。
- ・地域で育つ、育てる、子ども達に期待するとともに、「学校」「家庭」「地域」が力を合わせる事が出来る環境を創りたいと思います。
- ・自分が参加するなら、どのような取り組みがよいのかなどと思いながらお話を聞きました。
- ・地域の小学校と一緒にイベントや学習等をしたいと学校に働きかけたところ、年間のカリキュラムが決まっているのでできませんと断られてしまったことがあったそうです。是非、学校側からカリキュラムに組み込んでコミュニティセンターや地区社協、市社協等へどんどん声をかけて欲しいと思います。子どもが動く、若い世代（親世代）も地域へ参加しやすいと思います。
- ・児童生徒が地域と関わりをもつことの意義を委員会で協議しようと考えています。
- ・講義・事例紹介をお聞きして、頭の中には様々なアイデアが浮かんできました。地域コーディネーターと協議して実現したいと思います。（例：「農業塾」「高齢者に学ぶ（グラウンドゴルフペア大会）」「水源涵養（川と生活）」「地球・月・太陽の関係（綱引きによる引力）」）
- ・今できる小さなこと、ここが何なのか、ここからが始まりですね。他地区の方との交流、お話が聞けて良かったです。
- ・若い人がボランティアの行動をすることは大変いいことである。しかし、ゴミを拾うのはいいが、捨てない運動をされては。
- ・クリーン活動は知っていましたが、社協、学校、地域が関わりをもつての活動と事業だということを知り、勉強になりました。
- ・学校と地域をつなぐコミセンの役割が大きいと感じました。
- ・体験活動が教育活動の中に入っている様子が見られた。教育活動に制限がかかっているものと思いましたが、学校によって変わっているのが分かりました。
- ・学校には様々な制限がある。盛りだくさんの活動があると思うが、何か新しいことをするためには、何かを切る必要が生じる。その調整が現実的にはハードルが高いと感じている。子ども側からすれば、部活、習い事等、結構な活動量があり、新しいことをするには強い意志とパワーが必要となる。子どもの思いをしっかりと受け止めることを忘れては、大人の押しつけになってしまうと思う。
- ・河北中のクリーンプロジェクトに参加しました。とてもよい取り組みなので、今後も続けてください。応援します。
- ・鴨川中学校の取り組みを勉強できて良かったです。
- ・つながる、伝えることが人とのつながり（信頼）となり、みんなが思いをもって取り組むことが大切だと感じました。